



市埋蔵文化財センター

☎ 23-6020

17

DEKI DEKI
たいむとらべらー

野田の小八のオシラサマ

先日浄法寺歴史民俗資料館に、野田の館山由夫さんから三体のオシラサマを寄贈いただきました。

オシラサマという「蚕神」^{かいしがみ}「馬と娘の婚姻譚」^{こんいんたん}を思い出す人が多いようすが、古い時代のものには「目の神様」「家の守神」というものが多く、特に県北地方ではその傾向が強く見られます。館山家のオシラサマも、長い年月のうちに詳しい由来や伝承を失ってはいましたが、おそらく同系のものと思われる。

ひとつだけ面白いお話を聞くことができました。かつて野田の集落で大きな火災があった時、燃え盛る炎の中に、この三体のオシラサマが「ひと」の姿に化身して立ったというのです。オシラサマを「火難除け」とする地域もあり、そこに

は同じような伝承が伝わっています。

調査の結果、御神体に記録はなく年代は不詳。対であることを示す刻印のある二体は、頭頂部に特長のある珍しいもので、巧みな彫りと墨書でできた着物を着た長い髪の女性とあごひげのある男性の像でした。やや小型のもう一体は、残念ながら虫害で詳細がわかりません。

さて、実はこのオシラサマ、特筆すべきことがあります。明治43年、柳田國男が限定出版した『遠野物語』。その後昭和10年に『遠野物語拾遺』^{しゆい}が出版されますが、中に次のような記載があります。

『二戸郡浄法寺村の野田の小八という家では、オシラは三体でその一つは小児の姿であるという……』

「野田の小八」は由夫さんのおじいさん。寄贈された三体は『遠野物語』に登場するオシラサマなのです。



遠野物語にも登場した「野田の小八のオシラサマ」

こみゅにTeaたいむ

26 秋目

まちづくり事業補助金の5団体が決定

市は町内会や常会などが行う地域課題の解決や活性化を推進する事業に対して補助を行い、地域の特性を生かした個性的で魅力ある地域づくりを支援するため「まちづくり事業補助金」を交付しています。

この補助金の対象となる事業は、地域ごとに自ら計画され、公開審査会を経て、決定されます。

2年目にあたる今回は5つの町内会などから応募があり、去る6月29日、市役所において公開審査会が行われました。

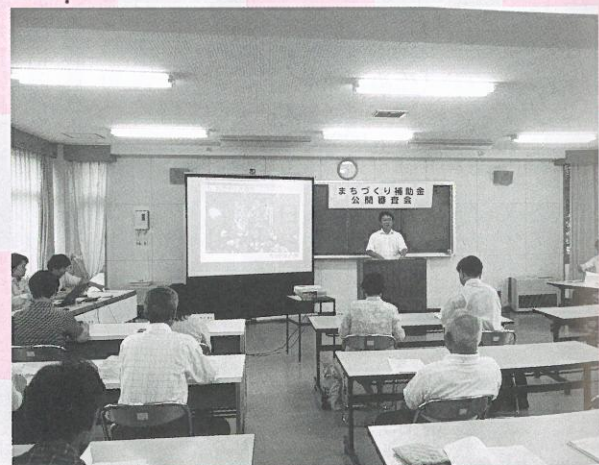
県立大学総合政策学部の高橋秀行教授をはじめとする4名の審査員により、地域住民の課題の解決が見込まれるかについて審査された結果、下記の表のとおり、5団体の全事業が決定となりました。

今回、応募した5団体は道路、地域施設の整備、イベントの開催、備品の購入などを行い、地域づくりへの取り組みを更に推進することとしています。

事業の実施結果は来年3月に地域づくりの研修会の場で発表される予定です。

H 21 まちづくり事業補助金交付決定団体

No	実施団体	事業名	事業内容
1	長瀬9区町内会	長瀬9区町内会提灯更新事業	二戸まつり提灯購入 250個
2	上米沢町内会	天満宮山車小屋の改修	山車小屋立て替え、敷地掘削
3	小祝地区会	小祝地区道路拡幅工事	道路拡幅、法面整備、側溝整備
4	浄門の里づくり協議会	浄門の里交流施設整備事業	炭窯の建設
5	馬場区町内会	堀野祭り前夜祭	盆踊り大会、花火大会



公開審査会の様子

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線 653）まで